

Ⅱ 生活の質の向上

1 環境の保全と創造

(1) 地球温暖化防止対策

① 温暖化ガス排出量削減の推進

◎ひょうごCO₂削減推進事業の実施 3,657千円

温暖化ガスの排出抑制のため、「止めよう温暖化！～ひょうごからあなたから～」をキャッチフレーズとした一大キャンペーンを実施

○地球温暖化対策等推進県民会議の開催

構成員：各地域環境団体、県民、事業者、NPO等

○「排出量取引ひょうご方式（仮称）」の検討

排出目標を超過する事業所が、超過分の排出量を余裕分のある他の事業所から買い取ることができる「排出量取引ひょうご方式」の創設（22年度予定）に向けた検討

- ・「排出量取引ひょうご方式検討委員会」（仮称）の設置（年3回）

委員8人（学識者、産業界、関係機関、金融機関等）

- ・制度運用に必要なガイドラインの作成

○グリーンエネルギーの導入促進

- ・住宅用太陽光発電の導入促進モデル事業等検討会の設置

- ・バイオ燃料（BDF、バイオエタノール）の導入促進

◎地球温暖化防止活動の推進 2,660千円

家庭からの温暖化ガス排出量の削減を図るため、県民等への普及啓発に取り組む地球温暖化防止活動推進員等の活動を支援

○地球温暖化防止活動推進員：定員350人

○地球温暖化防止活動推進協力員：定員100人

◎県施設の省エネ化改修

67,863千円

「環境率先行動計画」に基づき、温暖化ガス排出量削減の目標を達成するため、県民生活に密着し、CO₂削減効果の高い県施設の省エネ化改修を実施

○実施施設：県立高校2施設、警察署2施設

○実施工事：照明器具の初期照度補正型Hf照明への改修等

② 自動車公害対策の推進

◎低公害車等の導入促進

87,305千円

ディーゼル車等から排出される窒素酸化物及び粒子状物質を削減し、大気環境の改善を図るため、低公害車等の導入を支援

○低公害車導入補助事業（16台） (9,400)

○最新規制適合車代替促進助成事業（6台） (2,160)

○最新規制適合車代替促進特別補助事業（38台） (9,120)

○運送事業者への低公害車普及促進補助事業（96台） (66,625)

◎ディーゼル車への排出ガス低減装置装着に対する助成

7,700千円

大気環境の改善を図るため、ディーゼル車への排出ガス低減装置の導入を支援

○補助対象：県内民間事業者（県外フェリー利用者を含む）

○対象車両：8トン以上のトラック、定員30人以上のバス

○対象台数：22台

○補助率：1/4

◎ディーゼル自動車等運行規制の再検討

4,665千円

条例の規制内容を見直すため、ディーゼル自動車等運行規制の効果、大気汚染状況等を検証するための調査を実施

○規制パターンによるシミュレーションの実施

大気汚染予測モデルにより22年度の大気環境濃度の予測を行い、あわせて条例規制の効果を算出

③ グリーンエネルギーの導入促進

◎住宅用太陽光発電の普及促進 19,200千円

太陽光発電の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電を導入する者に対する補助を実施

○事業実施主体：ひょうご環境創造協会

○補助対象者：金融機関からの融資を受けて、自ら居住する県内の住宅に太陽光発電設備を設置する者

○補助額：機器購入代 × 1.95% × 1/2 × 5年（上限75千円）

○補助件数：250件

◎太陽光発電の普及啓発 4,990千円

県民及び事業者の太陽光発電に対する理解を深めるとともに、民間への太陽光発電のより一層の普及を図るため普及啓発を実施

○太陽光発電フェアの開催

ひょうごエコフェスティバルにおける太陽光発電フェアのコーナー設置及びイベント実施

・子ども向けのミニ・ソーラーカー工作教室の開催

・メーカー等による太陽光発電設備の見本展示

○普及啓発用パンフレットの作成等

④ 循環型社会の推進

◎循環型社会づくりの推進－わが家（わが社）の省資源・省エネキャンペーン

822千円

ごみの減量化、再利用、再資源化を図る資源循環型社会の形成をめざして、省資源・省エネキャンペーンを展開することにより、県民自らの生活スタイルの変革を促進

○省資源・省エネキャンペーン

地球温暖化対策等推進県民会議が中心となり、県民自らの環境に配慮した行動について普及啓発

・20年度主要テーマ

レジ袋削減運動及びマイ・バッグ運動の展開

過剰包装の追放

省エネ家電の普及

・啓発方法

店頭キャンペーンの実施

実施場所：大型商業施設の店頭等（県内5か所）

実施時期：10月

啓発資材（ポスター、ちらし等）の作成・配布

○生活環境改善功労者知事表彰

◎環境率先モデル事業の実施

1,500千円

循環型社会の形成に寄与する先導性の高い市町事業の早期立ち上げを支援

○補助額：500千円上限

○補助率：1／2

○補助件数：3件／年

(2) 瀬戸内海の再生

◎新第8回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス8）への参加

2,025千円

○開催時期：20年10月27日～30日

○開催場所：中国・上海市

○テーマ：河川集水域と河口域の調和



【世界閉鎖性海域環境保全会議】

◎播磨灘の里海づくり事業の推進 3,409千円

開発等により、干潟など海浜自然の消失や劣化などが進んできた播磨灘西部沿岸域における自然再生を推進

- 自然再生調査の実施
- 播磨灘の里海づくり専門委員会の設置、開催（年3回）
- 里海づくり懇談会の開催

◎瀬戸内海漁場環境修復計画の推進 3,264千円

珪藻赤潮によるのりの色落ち被害の軽減・防止のため、初期発生海域の詳細調査等を実施

- 珪藻赤潮予報発信のためのモニタリング調査
 - ・調査海域：播磨灘北部沿岸域、大阪湾北西部沿岸域
- 珪藻赤潮の初期発生場所の精密調査等
 - ・調査海域：播磨灘北西部沿岸域

(3) 環境大臣会合等の開催

◎環境大臣会合を契機とした関連事業の開催 22,481千円

- 環境大臣会合
 - ・会議日程：20年5月24日～26日
 - ・開催場所：神戸ポートピアホテル
 - ・参加国等：G8、主要開発途上国等、国際機関
- 関連事業
 - ・瀬戸内海里海シンポジウム（20年5月21日 兵庫県公館）
 - ・コウノトリシンポジウム（20年5月22日 豊岡市民プラザ）
 - ・ひょうご地球環境国際シンポジウム（20年5月22日 兵庫県公館）
 - ・学生環境フォーラム（20年5月17日 神戸大学）
 - ・ひょうご・こども環境会議（20年5月18日 兵庫県公館等）
 - ・子ども環境サミットin KOBE（20年5月22～24日 神戸芸術センター）
 - ・ひょうごの環境学習・教育実践発表会（20年5月21日 神戸国際会議場）
 - ・環境フェアin KOBE（20年5月23～26日 神戸市立中央体育館等）
 - ・NGO、NPO交流広場（20年5月24～25日 神戸学院大学） 等

◎新環境大臣会合の開催に伴う警備体制の強化 172,761千円

環境大臣会合の開催（20年5月）に伴う警備に向けた人的体制・各種装備の強化

○警備諸対策（警戒警備）

- ・人的体制の強化（延べ警備人数3万人程度）
- ・交通規制表示等の資機材の整備

○テロ対策

銃器刀剣等を所持した凶悪犯人を制圧する捜査員の受傷事故防止用装備資機材の整備

(4) 人と自然の共生

① 動物との共生

◎コウノトリの野生化に向けた取組の促進（再掲P.85） 14,047千円

◎野生動物防護柵集落連携設置事業の実施 50,000千円

シカによる農作物被害対策としての関係集落による防護柵設置を支援

- 事業主体：集落等
- 補助率：県1／2以内、市町1／4以上
- 事業量：約80km

◎森林動物研究センターの活動 85,084千円

野生動物の生息地管理、個体数管理、被害管理を総合的、科学的に進める「ワイルドライフ・マネジメント」研究拠点の運営

- 所在地：丹波市青垣町
- 主要施設：研究棟（延床面積1,585㎡）実験調査フィールド（調査研究用の人工林約126ha）
- 実施事業：資料収集調査事業、森林動物専門員（5人）の設置、森林動物専門員の設置、学術交流等

◎シカ個体群管理の推進

32,720千円

農林業被害の軽減と被害地域拡大の抑制及び森林生態系被害の抑制を目的として、シカの密度低減と分布拡大の抑制を図るため広域的なシカの一斉捕獲を支援

○事業実施主体：市町

○補助率：1／2以内

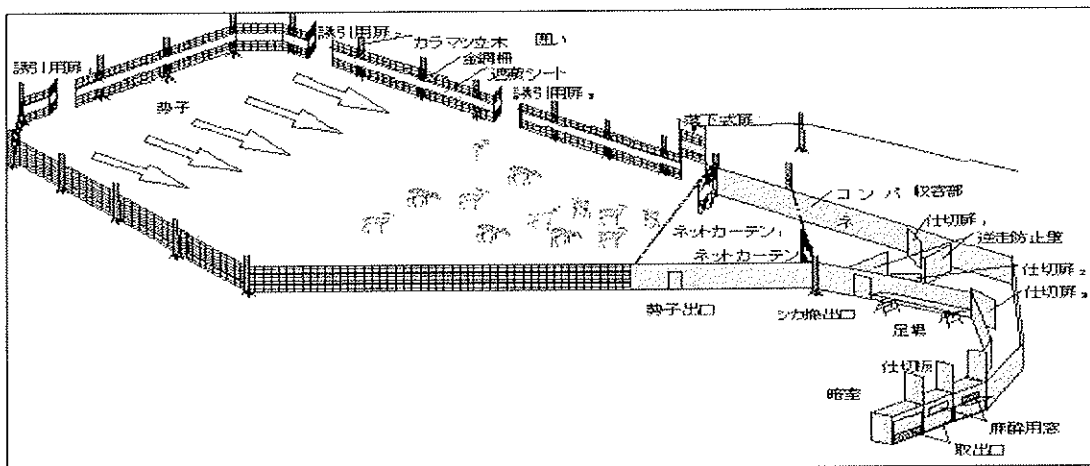
◎シカ大量捕獲技術の開発

4,198千円

シカの適切な個体数調整を図るため、少人数でも効率的に捕獲できる新たなシカ大量捕獲方式の技術開発を行う

○調査研究内容

北海道で開発された誘導型囲いワナをモデルとして、兵庫県の地域性に合致した捕獲方法を研究開発



【誘導型囲いワナの設置例】

(出典：『哺乳類科学 (第44巻)』(高橋ほか.2004))

◎ツキノワグマ出没総合対策の推進

2,709千円

人身事故の防止を図りつつ、ツキノワグマの絶滅を阻止するため、出没抑制のための学習放獣と放獣後の追跡調査等を行い、住民の安心・安全を確保

○学習放獣

捕獲したクマに電波発信機を装着、唐辛子スプレー等により学習させて放獣

・頭数：20頭

○電波発信機をつけたクマの追跡調査

○追い払い活動に要する経費への支援

◎サル出没総合対策の推進 5,615千円

サルの追い払い・追い上げなどの対策を支援するとともに、追い払い効果のない個体に対する捕獲を支援

○ニホンザル追い払い犬の育成支援

○被害防止柵設置の実証展示支援

- ・ ネット式電気柵（モンキーSHOCK）
- ・ 特殊防護柵（猿落君改良型）のモデル展示

◎野生動物育成林の整備（県民緑税充当事業）（再掲P.156） 144,000千円

◎動物愛護管理推進計画の推進 7,538千円

動物愛護管理推進計画に基づき、地域の実情に応じた施策展開及び効果的、効率的な動物愛護事業を推進

○地域別動物愛護管理推進会議の開催

- ・ 設置場所：4か所（動物愛護センター及び3支所）
- ・ 構成主体：県、管内市町、地元自治会、動物愛護団体、獣医師会支部等

○動物愛護事業の推進

- ・ 飼育リーダーの養成講習会の開催
- ・ 動物取扱業指導（立入指導、管理責任者講習会等）等

② 自然環境の保全・再生

◎自然環境保全・再生活動指針の作成 769千円

自然環境保全・再生活動への県民の主体的な参画を促し、活動の活性化を図るための指針を作成

○先進的な自然環境保全・再生事例の収集

○指針検討委員会開催

収集・整理した事例を基に、成功要因を分析し、指針を作成

○保全・再生活動の手引きの作成

県民、NPO等が地域で保全再生を行う際に活用できる手引きを作成

◎特定外来生物対策の推進

8,238千円

特定外来生物による被害の防止を図るための施策を推進

○特定外来生物被害対策事業の実施 (7,200)

- ・事業主体：市町
- ・捕獲頭数：アライグマ1,600頭、ヌートリア800頭
- ・補助率：1／2以内

○生態系保全のための防除等対策の実施 (1,038)

防除を優先すべき固有の生態系を持つ地域等において、防除等対策を実施

- ・実施箇所（予定）：皿池（ヌートリア）、久斗川（ブラックバス等外来魚）、成ヶ島（ナルトサワギク）

◎上山高原エコミュージアムの推進

18,156千円

自然環境の保全を図りながら地域振興にも寄与する、新しい環境保全・利用の拠点として「エコミュージアム」を推進

○運営体制への支援

- ・自然観察会、草木染め体験等の交流・実践プログラムの実施 等

○自然再生事業の実施

- ・ススキ草原、ブナ林、湿地等の自然復元活動
- ・イヌワシ生息状況調査、ススキ草原・ブナ林の生態系調査等

◎⑧環境創造型農業の推進（再掲P.154）

61,920千円

(5) 環境学習の総合的推進

◎ひょうご環境体験館（仮称）における環境学習の実施 35,869千円

地球温暖化防止をはじめとする環境問題についての環境学習の拠点施設であるひょうご環境体験館（仮称）による体験型環境学習の実施

○設置場所：播磨科学公園都市内（佐用町）

○環境学習プログラム

- ・基本プログラム：地球温暖化防止等参加・体験型の学習プログラムの実施
- ・特別プログラム：地球温暖化防止活動推進員、環境活動グループ等による環境学習講座の開催

○企画イベント・企画展示の実施

◎ひょうごの環境学習・環境教育の総合的推進事業（再掲P.81） 42,086千円

◎「フェアブルにまなぶ展」の開催 35,947千円

「フェアブル昆虫記」刊行100周年を記念し、フェアブルの業績及び100年間の昆虫学と関連分野の研究の進展を紹介する「フェアブルにまなぶ展」をフランス国立自然史博物館と国内自然系博物館で共同開催

（人博会場）

○全国巡回展

国内博物館 5館を巡回する共通展示

- ・開催期間：20年9月20日～11月30日
- ・開催場所：人と自然の博物館ホロンピアホール
- ・内 容：フェアブルの業績紹介等

○兵庫オリジナル展

- ・開催期間：20年9月20日～11月30日
- ・開催場所：人と自然の博物館本館
- ・内 容：①昆虫の不思議体験コーナー
②兵庫ゆかりのナチュラリストの紹介コーナー
③21世紀の兵庫のナチュラリストたちのコーナー
④ワークショップの開催

(淡路会場)

○国際シンポジウム

- ・開催期間：20年10月4日
- ・開催会場：淡路国際会議場
- ・内 容：基調講演、パネルディスカッション等

○国際シンポジウムコラボレート展「花と昆虫展」

- ・開催期間：20年9月～10月
- ・開催会場：奇跡の星植物園（淡路花博公園内）
- ・内 容：生きた植物等を活用し、体験的に植物と昆虫の共生関係の不思議を紹介

(6) 廃棄物処理対策の推進

◎不適正処理対策の充実強化 20,006千円

産業廃棄物等の不適正な処理を防止するため、監視、指導体制を強化

- 不適正処理監視員の設置（8人）
- 夜間・休日パトロールの実施
- 不法投棄防止対策協議会の開催 等

◎海域不法投棄廃棄物処理対策の実施 5,000千円

不法投棄により一時的に大量に発生した海域ゴミの回収・処分に対する支援

- 事業主体：漁業協同組合、漁業協同組合連合会
- 費用負担：県1/4、市町1/4、豊かな海づくり協会1/4、漁協等1/4

(7) バイオマスの利用促進

◎㊦遊休農地等を活用したバイオマスエネルギーの利用促進 6,889千円

○遊休農地等を活用したバイオマスエネルギー利用検討事業 (5,889)

- ・バイオマスエネルギー資源作物の実証栽培
実証品目：ナタネ（2品種）、米（多収量品種）
実証面積：ナタネ2.0ha、米2.0ha
- ・㊧バイオマスエネルギー資源作物燃料化検証

○新遊休農地等を活用したバイオマスエネルギー利用モデル育成事業（1,000）

遊休農地等を活用したバイオマスエネルギーの生産・利用に係るモデル地域の取組を支援

- ・実施主体：市町等
- ・実施内容：地域検討会、搾油、バイオマス燃料製造 等
- ・補助率：10/10以内
- ・標準事業費：500千円/地区
- ・実施件数：2地区/年

◎農のゼロエミッションの実践支援

2,393千円

兵庫県バイオマス総合利用計画の目標達成のため、バイオマス利活用の積極的な普及啓発等を実施

○意識醸成・普及啓発

- ・ひょうごバイオマスecoモデル登録制度の実施
- ・バイオマスタウン育成支援の実施
- ・農のゼロエミッション推進大会の開催

〔内容：基調講演、ecoモデル登録証授与式、取組発表 等〕

○先導的取組に対する支援

- ・(財)新産業創造研究機構（N I R O）による相談対応、技術支援等

2 美しいまちづくり

(1) 生活の質を向上させる都市づくりの推進

① 都市再生の推進

◎明舞団地再生推進事業の実施

1,498千円

高齢化が進んだニュータウンである明舞団地において住民自身による持続的な再生のしくみづくりを実施

○明舞まちづくり委員会の設置・運営

○地域主体のまちづくりに向けた取組

・住民による公的施設の管理運営モデル事業の実施

地域住民がサブセンター等の公的施設を自ら管理運営し、新たなニーズに対応したサービスを住民自身が提供する仕組みをモデル的に実施

・大学と連携したまちなカラボの導入

団地再生に必要な実践的な調査研究の場を提供

◎公共交通バリアフリー化の促進

271,693千円

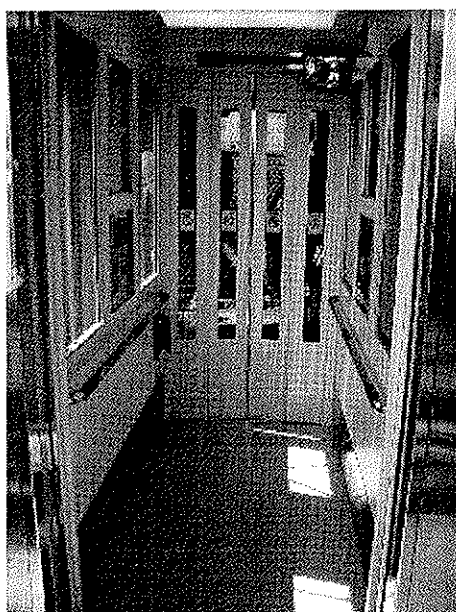
公共性が高い鉄道駅舎等のバリアフリー化とノンステップバスの導入を促進

○鉄道駅舎エレベーター等設置補助

・20年度実施：エレベーター7駅14基

○ノンステップバス等購入補助

・20年度実施：31台



【貫通型（スルー型）エレベーター】

◎ユニバーサル社会づくり実践モデル地区整備の推進

6,975千円

県が指定する「ユニバーサル社会づくり実践モデル地区」において、市町が住民や企業・団体等と協働して、ユニバーサル社会実現のためのまちづくりを総合的に実践する取組に対し支援

○モデルプラン策定費補助

モデル地区に指定された市町のモデルプラン（原則5年間の取組内容等を記載）策定に係る経費に対し助成

- ・指 定 数：6地区
- ・補助基本額：500千円／地区
- ・負担割合：県1／2、市町1／2

○モデル地区協議会活動補助

協議会等の活動の質的な充実や、次の活動へつなげる検証等を行う活動費を市町に対して助成

- ・対象地区数：12地区
- ・補助基本額：600千円
- ・支援期間：5年間
- ・負担割合：県1／2、市町1／2

○モデル施設等改修費補助

モデル地区内の民間施設のバリアフリー化を市町とともに支援

- ・対象施設：モデル地区内の特定施設、中小企業者等が所管する特定施設
- ・対象施設数：5施設
- ・補助基本額：1,500千円～3,000千円（特例加算あり）
- ・負担割合：県1／4、市町1／4、事業者1／2

◎新東方地域都市計画住居機構（E A R O P H）姫路・兵庫世界大会2008の開催

6,835千円

○開催概要

- ・参加者：約300人（国内外の都市計画、住宅計画、防災等の研究者等）
- ・開催時期：20年10月21日～24日
- ・開催場所：姫路市、淡路市

○開催内容

- ・メインテーマ：住宅・都市文化の継承と持続性
- ・サブテーマ：歴史・文化の持続性とまちづくり
災害文化を継承した安全・安心なまちづくり
- ・基調講演、分科会、展示会
- ・現地視察（歴史的文化及び災害文化防災復興に係るまちづくり・施設等）

○主催：E A R O P H、J A S O P H（国際住宅・計画問題協議会）、
兵庫県、姫路市、淡路市

② 快適な住まいづくりの推進

◎新住生活総合調査（仮称）の実施

12,226千円

住宅・世帯の状況及び住宅・住環境に対する評価等を調査、分析

○調査規模：約1万件

○調査日：20年12月1日

◎新人生80年いきいき住宅改造助成事業の実施

313,490千円

高齢者・身体障害者に配慮した既存住宅の改造や共用部分のバリアフリー
化工事等を支援

○限度額：1,000千円／世帯～1,500千円／世帯

○基本負担割合：県1／6、市町1／6、申請者2／3

（特別型については所得に応じて申請者負担0～1／2に軽減措置あり）

◎付加価値向上による良好な住宅分譲の推進（企業庁 地域整備事業会計）

15,230,292千円

播磨科学公園都市、神戸三田国際公園都市、潮芦屋の企業庁所有の住宅用地について、まちの付加価値向上による良好な住宅分譲を展開

○地域の魅力を活かした住宅分譲の推進

- ・立地企業と連携した勤務者の都市内居住の促進（播磨科学公園都市）
- ・マリーナ周辺ゾーンの整備と付加価値の高まりを活かした良好な住宅分譲の推進（潮芦屋）

○住民ニーズを反映した住宅分譲の推進

- ・区画の大規模化・定期借地権付住宅などの検討（播磨科学公園都市）
- ・住宅分譲に係るインセンティブの拡充（播磨科学公園都市）
- ・カルチャータウン地区センターの整備（神戸三田国際公園都市）

○公民協働による住宅分譲の推進

- ・民間事業者などと協働した住宅分譲の推進
- ・一括民卸など分譲手法の見直し検討

③ 緑豊かなまちづくりの推進

◎県民まちなみ緑化事業（県民緑税充当事業）の実施

560,000千円

住民団体等が実施する緑化活動を支援

○対象地域：市街化区域、用途指定区域、緑条例のまちの区域 等

○助成内容：苗木購入費、緑地整備費（樹木費、地盤整備、土壌改良）



【まちなみ緑化活動】

(2) 中心市街地の活性化の推進

◎まちなか空きビル再生支援

2,833千円

中心市街地の空きビル等を改修・用途変更し、都市機能向上を図る取組を支援

○事業主体：民間事業者等

○補助対象：空きビル、空き店舗等を公益的施設に用途転換するために必要な調査設計計画費、改修工事費 等

○負担割合：国 1 / 3、県 1 / 9、市町 2 / 9、事業者 1 / 3

◎再開発ビルリニューアル支援

13,196千円

既存再開発ビルの商業施設等のリニューアル事業を支援

○事業主体：民間事業者

○補助対象：調査設計計画費、共同施設整備部分の工事費等

○負担割合：国 9 / 33、県 5.5 / 33、市 5.5 / 33、事業者 13 / 33

3 生涯学習・スポーツの振興

(1) 高齢者学習の推進

◎いなみ野学園・阪神シニアカレッジの運営

120,604千円

高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進するため、高齢者に総合的・体系的な学習の機会を提供

○いなみ野学園

4年制大学講座、地域活動指導者養成講座（2年制）、大学院（2年制）

○阪神シニアカレッジ

4年制大学講座

区 分		現 行		見 直 し 後	
		月 額	年 額	月 額	年 額
いなみ野	4年制	2,000円	24,000円	5,000円	60,000円
	地域活動指導者養成				
	大学院				
阪 神	4年制				

※講座の充実

高齢者学習の新たなニーズに対応するため、実践活動を重視したカリキュラムの導入など、20年度から段階的に講座内容を充実

○~~新~~いなみ野学園40周年記念事業の実施

◎地域高齢者大学の運営

8,953千円

高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進するため、高齢者に総合的・体系的な学習の機会を提供

○4年制大学講座

○地域活動実践講座（2年制）

区 分		現 行		見 直 し 後	
		月 額	年 額	月 額	年 額
地 域 高 齢 者	4年制	250円	3,000円	1,250円	15,000円
	地域活動実践講座 (大学院)	500円	6,000円		

※実践活動を重視したカリキュラムを実施し、講座内容を充実

(2) スポーツの振興

◎新「ひょうごスポーツ促進プログラム」実践・研究事業の実施 861千円

ファミリーを対象とする「ひょうごスポーツ促進プログラム」の開発

○目 標：22年度で週1回以上のスポーツ実施率60%

○事業内容：

- ・「ひょうごスポーツ促進委員会」の設置
- ・「ひょうごスポーツ促進プログラム」の開発、普及・啓発

◎ひょうご生涯スポーツ大会の開催 3,405千円

グラウンドゴルフやゲートボールなど、日常生活の中で取り組めるスポーツを種目とする大会の開催

○開催時期：20年4月～21年3月

○開催場所：三木総合防災公園ほか県内各地

◎国体出場選手等による少年少女スポーツ教室の実施 3,398千円

○対 象：主として小学生

○開催種目：各教育事務所当たり2種目

○参加人数：延べ4,000人程度（1教室あたり200人程度）

○派遣者数：1教室に8人程度派遣

◎「ひょうごキッズ元気アップ」実践推進事業の実施 1,530千円

小学生の体力・運動能力の向上を図るため「運動プログラム」の普及・実践

○推進校の指定：10校

◎パワーアップ&サポート運動部活動支援事業の実施 55,893千円

公立中学校・県立高等学校の運動部活動に専門的指導力を有する外部指導者を派遣

○公立中学校：派遣者数153人

○県立高等学校：派遣者数 80人

◎新兵庫県競技力向上事業「はばたけ兵庫推進プラン」の実施 250,000千円

「のじぎく兵庫国体」等で高められた競技力を継続し、将来への発展につなげるため、長期的展望に立った競技力の維持・向上を図る取組を推進

○組織の充実・強化プログラム

- ・国体で構築した競技間のネットワークを活用

○トップコーチ育成プログラム

- ・全国レベルの指導者を講師に招き、県内指導者の指導力を向上

○選手強化・育成プログラム

- ・強化指定する有望選手をジュニア世代から育成
- ・中学・高校生の強化
- ・兵庫タレント発掘事業

○選手サポートプログラム

- ・メディカルチェック、メンタルサポートの充実

◎スポーツクラブ21ひょうごの推進 222,250千円

○スポーツクラブの運営支援（209クラブ（4～5年次））

○クラブアドバイザー派遣事業の実施

○「スポーツクラブ21ひょうご」交流事業の実施

- ・全県交流フェスティバルの開催
- ・ブロック域交流フェスティバルの開催

◎「2008神戸全日本女子ハーフマラソン大会」の開催 24,000千円

○開催時期：20年11月中旬（予定）

○開催場所：神戸市内

○参加者：約2,000人



【神戸全日本女子ハーフマラソン大会】

(3) 芸術文化の振興

◎県民芸術劇場の実施

49,590千円

県民が芸術文化を気軽に楽しめる参加体験型芸術文化事業を県内各地で展開

○分野：オペラ、オーケストラ、バレエ、ミュージカル、演劇、邦楽、舞踊等

○会場：県内各地の学校、公立文化施設

○回数：学校公演120回、一般公演16回

○負担区分：県1／2、市町1／2

◎日本ペンクラブ「『平和の日』の集い」への支援

2,338千円

日本ペンクラブ会員や著名ゲストを迎えてのリレートーク等の行事を支援

○開催時期：21年3月3日

○開催場所：神戸文化ホール中ホール

◎兵庫県立芸術文化センターの運営

1,496,726千円

○自主制作をはじめとする公演事業の実施

・芸術監督等プロデュース事業

・招聘・共催・提携事業

・普及・交流公演事業

○兵庫芸術文化センター管弦楽団の運営

【芸術文化センター 20年度事業ラインナップ（主なもの）】

区分	事業名	日程	概要
大ホール	佐渡芸術監督プロデュース オペラ「メリー・ウィドウ」	6月21日～7月6日 (10公演)	エスプリ香るパリを舞台に繰り広げられる大人の恋の物語（オペレッタ）
	佐渡芸術監督プロデュース ジルヴェスター・ガラ・コンサート	12月31日～1月1日	大晦日から新年にかけて多彩なゲストを迎えて実施する定番コンサート
	兵庫芸術文化センター 管弦楽団定期演奏会	4月11日～13日、 6月6日～8日ほか (合計24公演)	佐渡芸術監督や客演指揮者によるコンサート
	フィラデルフィア管弦楽団& 五嶋みどり	5月25日	エッセンバハ率いるフィラデルフィア管弦楽団がソリストに五嶋みどりを迎えて実施するコンサート
	パリ国立オペラ「トリスタン とイゾルデ」ほか	7月19日～21日 (3公演)	世界のオペラ界を強力にリードしてきた「パリ国立オペラ」の初来日公演
	シュトゥットガルト・バレエ 「眠れる森の美女」	12月6日	ドラマティック・バレエの名門シュトゥットガルト・バレエ団
	青少年芸術体験事業「わくわく オーケストラ教室」	10月～1月 (合計40公演)	県内の全中学1年生を対象に本格的なオーケストラ演奏に親しむ機会を提供（教育委員会事業）
中ホール	センター企画・プロデュース 演劇「王女メディア」	5月10日～11日 (2公演)	芸術文化センターの演劇事業の新シリーズ「タイトルロールの女たち」の第1弾
	センター企画・プロデュース 演劇「ハロルドとモード」	6月11日～15日 (7公演)	19歳の少年・ハロルドと80歳の老嬢・モードが恋に落ちる…極めてユニークな恋物語
	センター企画・プロデュース 音楽劇「赤毛のアン」	7月30日～8月10日 (7公演)	モンゴメリの傑作「赤毛のアン」を音楽劇として上演
	茂山狂言会	4月11日～12日 (3公演)	京都を拠点とし、全国に活動を広げる茂山狂言会が狂言初見者にも楽しめる狂言を実施
小ホール	国内外室内楽公演	5月18日ほか (合計22公演)	世界一流の室内楽団、地元出身音楽家等による幅広いジャンルの室内楽演奏
	兵庫芸術文化センター管弦楽団 室内楽演奏会	10月14日ほか (合計4公演)	オーケストラ公演とは違った、兵庫芸術文化センター管弦楽団の魅力アピール

◎兵庫陶芸美術館の運営

259,306千円

- 企画展・テーマ展の開催、兵庫陶芸美術館イベントの開催
- 著名作家招聘事業の実施、若手陶芸作家等を対象とした技術専門講座の開催
- 陶芸ワークショップ等の開催
 - ・陶芸ワークショップ：1講座40人（年1回）
 - ・陶芸文化講座：1講座40人（年1回）
 - ・子育て世代向け陶芸ワークショップ：1講座20人（年4回）
- 県民陶芸大学の実施
 - ・県民陶芸大学：1講座10人（年2回）
- 誘客のための戦略的かつ効果的な対策の検討

◎県立考古博物館の運営

164,817千円

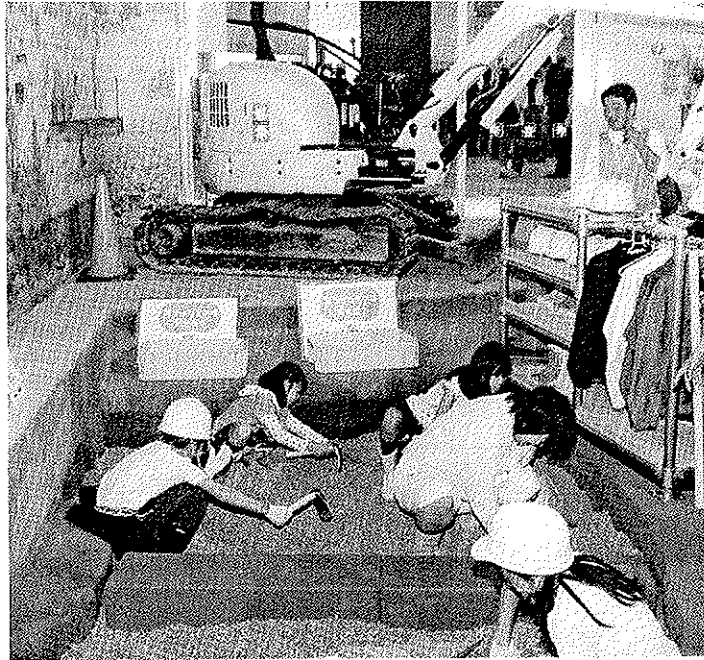
- 特別展・企画展の開催

事業名	日程	概要
開館記念展Ⅲ 「光は西からーひょうご・文明との出会い」	20年5月24日 ～7月6日	兵庫県の弥生文化の中に、東アジア古代文明とのつながりをさぐる
秋季特別展 「発掘された日本列島展2008」	20年9月13日 ～10月19日	2007年に特に注目された全国の遺跡の発掘調査成果の紹介
夏季企画展「古代の漁業展」(仮称)	20年7月19日 ～8月31日	弥生時代を中心とした原始古代の漁法、漁具の紹介
冬期企画展「狩猟民の道具展」(仮称)	20年11月1日 ～12月21日	縄文時代・弥生時代の動物の狩猟具の紹介

- ひょうご考古学まるごとミュージアム事業の実施

県立考古博物館を兵庫県における考古学分野の中核施設として、市町等の資料館・博物館とのネットワークを構築するための事業を展開

- ・「ひょうご考古学まるごとミュージアム推進協議会」の設置
構成員：県内の考古系博物館（24館）、市町教育委員会等
- ・「ふるさと発掘展」の開催
テーマ：「酒蔵を掘るー酒づくりの考古学ー」(仮称)
開催時期：20年11月1日～12月14日
開催場所：伊丹市立博物館等



【県立考古博物館】

◎ネットミュージアム兵庫文学館の充実

5,768千円

インターネットや兵庫情報ハイウェイを活用したコンテンツ「ネットミュージアム兵庫文学館」による兵庫ゆかりの文学の発信

○常設展示の拡充

◎県立美術館の運営

963,025千円

○各種展覧会の開催

・特別展

事業名	日程	概要
『『南画って何だ!?!』近代の南画 -日本のこころと美』展	20年4月22日 ～6月8日	村上華岳・水越松南の生誕120周年を記念し、両者共通の「南画」の歴史と近代における展開を考察
「冒険王・横尾忠則」展	20年6月27日 ～8月24日	兵庫出身の横尾忠則を「冒険」という楽しい切り口で紹介
「シャガール「色彩の詩人」展	20年9月上旬 ～10月下旬	ロシア国立トレチャコフ美術館のコレクションを中心としてシャガールの画風の神髄を県民に伝える
兵庫県立美術館+オスカー・ニーマイヤー美術館交流展（仮称）	20年11月上旬 ～12月中旬	2008年ブラジル交流年に当たり、パラナ州オスカー・ニーマイヤー美術館で開催される「兵庫のコレクション」展出展作品と、同館の推薦作家を紹介
「ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密」展	21年1月初旬 ～3月下旬	ウィーン美術史美術館のコレクションから、「絵画における静物表現」を主題に構成

- ・常設展

美術館のコレクションを活用したテーマ性のある展示や、こどもを対象とした展示を新たに展開

- ・2008年県展の開催

県民を中心とした応募作品のうち、審査を経た入選作を展示し、広く一般に公開

- 「様々な芸術との融合事業」の実施

◎新県立美術館の新たなにぎわいづくり事業の実施

14,596千円

県立美術館への来客を促進するため、学校団体や親子での美術鑑賞を推進する活動や県内各地での展覧会等を実施

- こどもの来館促進

- ・県内全小学生に展覧会のこども向け紹介チラシを配布
- ・県内学校での美術鑑賞の出前授業を実施
- ・県内各地域でこども向け制作体験イベントを実施
- ・団体鑑賞用教材の充実

- アウトリーチ活動の充実

- ・特別展等の出張解説会の実施
- ・出張展覧会の実施

- 周辺商店街と連携した相互割引サービス等の実施

- 広報活動

HPリニューアル、バナー設置等による県内外へのアピール

◎県立歴史博物館の運営

159,640千円

○特別展・企画展の開催

事業名	日程	概要
特別展「高校野球90回記念展 夏・甲子園」	20年5月31日 ～7月27日	県内の夏の甲子園優勝・準優勝校をはじめ、熱戦の舞台となった甲子園球場の歴史・変遷を紹介し、当時の世相とともに歴史を振り返る
特別展「ふるさとの神々」	20年10月18日 ～12月7日	神社を中心に継承されてきた有形・無形文化財を一堂に会し、兵庫県の歴史及び文化の深層に迫る
企画展「光と影のワンダーランド」	20年8月9日 ～9月28日	影絵・覗き眼鏡等を使い、ヨーロッパ及び日本における光学玩具の歴史を辿る
企画展「ひょうごの港めぐり」	21年1月24日 ～3月22日	近世の流通の拠点となった県内各地の港や地域産業の発展・地域間の交流にスポットを当て、諸港の役割や特色を紹介

◎第94回全国図書館大会・兵庫大会の開催

1,000千円

- 大会期間：20年9月18日～19日
- 開催場所：神戸市
- 負担割合：県2／3、神戸市1／3

◎「親子で楽しむひょうご寄席」の実施

4,800千円

主として親子、孫を対象とした寄席を実施し、落語を通じて伝統文化に親しむ機会を提供

- 主催：県・市町共催
- 開催回数：4回
- 経費負担

県：出演料、市町：会場代、広報宣伝経費

◎地域アーティスト情報発信支援事業の実施

4,400千円

新進・若手を中心としたアーティスト等の育成・支援を目的に、情報提供をはじめ、発表・交流の場を提供

- コーディネーターの配置（2人）

新進・若手アーティストの要望に応じたアドバイス、芸術文化情報や発表の機会などを提供